

「想像力で進化する!」

2学期は、各学部・学年で校外学習・修学旅行がたくさんありました。ふだん学校では経験できないことを、たくさん学んできました。

中学部3年生の修学旅行はディズニーランドで、夢のような時間を子どもも先生も過ごしました。

アメリカで、世界初のテーマパーク、ディズニーランドを作ったのは、ミッキーマウスの生みの親ウォルト・ディズニーです。ウォルトは、パークができた時に、「ディズニーランドが完成することはない。世の中に想像力がある限り、進化し続けるだろう。」と言っています。

私たちはつい、目の前にあるものが完成したものと思いがちです。でも、例えば毎日使っているスマートフォンでも、使いやすい機能が日々更新されています。「こうなるといいな」「こうするともっとおもしろくなるはず!」と想像力をはたらかせれば、毎日の生活が進化していきます。

また、目に見えていなくても、少しずつ進化していることもたくさんあります。子どもたちの成長が、その一つです。あるときふと、「そういえば、いつの間にかできるようになっていた!」と気づくことがあります。それも、家庭や学校で、想像力をはたらかせて、夢のような毎日を過ごしているから…のはず。

「…そのためには、その夢を現実のものとする努力が人々には求められる。」これも、ウォルトの言葉です。…たかつの夢と現実とは来年もつづく…

校長 山崎 嘉信

小学部6年修学旅行 横浜・八景島シーパラダイス

待ちに待った修学旅行で八景島へ行きました。

1日目はプレジャーランドでアトラクションを楽しみました。はじめはパラダイスタワーに挑戦! 高く上がっていくと、目の前に広がる海と青空の景色に「わあ!」と歓声が上がりました。スリルと感動を一度に味わえる貴重な体験でした。次は、メリーゴーランドでカラフルな馬や優雅な馬車に乗り、音楽に合わせてゆっくり回る時間を楽しみました。その後は自分や家族へのお土産



たかつ
クイズ⑦

高津支援学校は12月16日で50周年まであと〇〇〇日となりました♪
さて、あと何日でしょうか?

→こたえは、中面へ…



を^{こうにゆう}購入しました。低^{てい}学年^{がくねん}のころからずっと買^かい物^{もの}学^{がく}習^{しゅう}を行^{おこな}ってき^{せい}た成^{せい}果^かが
発^は揮^{つき}され、商^{しょう}品^{ひん}を吟^{ぎん}味^みして選^{えら}んだり、流^{なが}れをよ^りく理^り解^{かい}して支^し払^{はら}いをし^したりと、
欲^ほしいもの^{もの}を購^{こう}入^{にゆう}するこ^ころがで^よきました。夜^よはホ^{ごう}テ^かルで豪^{ゆう}華^{はん}な夕^た飯^{はん}を食^たべ、
先^{せん}生^{せい}や友^{とも}達^{だち}と一^{いっ}緒^{しょ}に楽^{たの}しく過^かごし、非^ひ日^{にち}常^{じょう}のひと時^{とき}はドキドキし^しつつもあ^あつと
い^いう間^までし^した。

2日^{にち}目^めは水^{すい}族^{ぞく}館^{かん}へ。ドーム型^{がた}の水^{すい}槽^{そう}を見^み上^あげると大^{おお}きなイルカ^{イルカ}がのび
のびと泳^{およ}いでいて、その姿^{すがた}に目^めを輝^{かが}かせ、様^{さま}々^ざな海^{うみ}の生^いき物^{もの}の不思議^{ふしぎ}に
驚^{おどろ}いていまし^した。

写^{しゃ}真^{しん}を撮^とったり、ふれあ^{ふれ}いコーナ^こーナ^なで生^いき物^{もの}に触^ふれたり、笑^え顔^ががいっ
ぱい^かの2日^{にち}間^{かん}とな^なりました。



小学^{しょうがく}部^ぶ6年^{がくねん}学^{ちゅう}年^{よう}長^{こうざい} 香^{ひと}西^み 仁^み美^み

高等^{こうとう}部^ぶ2年^に 宿^{しゅく}泊^{はく}学^{がく}習^{しゅう} ふじの体^{たい}験^{けん}の森^{もり} やませみ

11月^{こうよう}、紅葉^{うつく}が美^きしい季^き節^{せつ}に、相^{さが}模^み原^{はら}市^し立^{りつ}ふるさ^{しぜん}と自^し然^{ぜん}教^{きょう}室^{しつ}「ふじの体^{たい}験^{けん}の森^{もり} やませみ」に宿^{しゅく}泊^{はく}しまし^した。
車^{しゃ}窓^{そう}からわ^みき水^{みづ}や紅^{こう}葉^{よう}を眺^{なが}めるこ^ころがで^すき、澄^すんだ空^{くう}気^きと豊^{ゆた}かな自^{しぜん}然^{ぜん}にふれるこ^ころがで^すきました。

初^{しよ}日^{にち}は、入^{にゅう}所^{しよ}式^{しき}後^ごに注^{ちゅう}文^{ぶん}弁^{べん}当^{とう}で昼^{ちゅう}食^{しょく}をと^とり、モ^もル^るクで体^{たい}を動^{どう}かし^しました。タ^{たん}ン^{さん}ま^まん^{じゅう}づ^づくりで^は、
班^{はん}の^{みんな}で協^{きょう}力^{りき}しな^{ながら}生^き地^じをこ^こね、あ^あん^こを^いれ^て美^み味^いしいま^まん^{じゅう}をつ^{つく}り^まし^た。蒸^むし^てい^る間^{あい}に^はは
石^{いし}う^すで粉^{こな}ひ^きき体^{たい}験^{けん}に挑^{ちょう}戦^{せん}し、地^ち域^{いき}の文^{ぶん}化^かに触^ふれ^まし^た。夕^{ゆう}食^{しょく}は^はか^らあ^あげ^て定^{てい}食^{しょく}を^{たん}の^うし^よる^は「^{かぜ}風^{ふう}のテ^たラ^らス」
で^でキャ^{きゃ}ン^だル^るフ^ふア^あイ^いヤ^やーを^をし^しま^した。「^やま^ませ^せみ^みホ^ほイ」を^を歌^{うた}い^なが^ら、幻^{げん}想^{そう}的^{てき}な炎^{えん}を^ほの^おか^かこ^この^たの^じかん^すを^を過^かご^し
ま^した。夜^よのレ^{こう}ク^{はん}後^{しつ}半^{ぱん}は^は室^{さい}内^ごで○^お×^もク^あイズ。最^{さい}後^ごま^まで大^{だい}に盛^もり^あが^りま^した。

2日^{にち}目^めは鮭^{さけ}&み^{しる}そ^{てい}汁^{じゆく}定^{げん}食^きで元^{ふた}気^たをチャ^ねー^{たい}ジ^{しよ}し、再^{ふた}びモ^ねル^{たい}ク^{しよ}で熱^ね戦^{せん}!退^{たい}所^{しよ}式^{しき}後^ごは、タ^たク^しシーで^{ふじ}藤^{えき}野^の駅^{えき}へ
移^い動^{どう}しま^した。八^{はち}王^{おう}子^じ駅^{えき}では各^{かく}自^じが注^{ちゅう}文^{ぶん}し^たラ^{らん}チ^ちを^{たの}しみ、横^{よこ}浜^{はま}線^{せん}へ。新^{しん}横^{よこ}浜^{はま}駅^{えき}で解^{かい}散^{さん}とな^なり^まし^た。

そ^それ^れぞ^ぞの^の係^{かかり}が責^{せき}任^{にん}を持^もっ^て仕^し事^{ごと}を^とり^とげ、昨^{さく}年^{ねん}度^どよ^よりも成^{せい}長^{ちやう}し^たた姿^{すがた}が^みら^れま^した。仲^な間^{かん}と過^かご^しした
時^じ間^{かん}は、笑^え顔^がと絆^{きず}に^あふ^れ、忘^{わす}れ^れら^れない思^{おも}い^で出^でとな^なり^まし^た。

高等^{こうとう}部^ぶ2年^に学^{がく}年^{ねん}長^{ちやう} 松^{まつ}村^{むら} 理^り恵^え



食^{しょく}育^{いく}

来^{らい}年^{ねん}はう^ふま^{やす}年^{ねん}です♪冬^{ふゆ}休^{やす}みも体^{たい}調^{ちやう}管^{かん}理^り
により一^{いっ}層^{そう}気^きをつ^つけ^て過^かご^しま^しよ。健康^{けんこう}支^し援^{えん}係^か



進路

今年も残すところわずかとなりました。保護者の皆さまには、1年間、学校生活や進路に関する取り組みにご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

この時期は、1年間のお子さまの姿をぜひ振り返っていただけたらと思います。できるようになったこと、少しずつ自信がついてきたこと、挑戦しようとする姿など、ご家庭でも小さな成長をたくさん感じたのではないのでしょうか。日々の積み重ねは、確かな力となってお子さまの中に育まれていきます。

学校生活の中での身支度や時間を意識した行動、人とのかかわり、役割を意識して行う活動といった経験は、将来の進路や社会に向かう力へとつながっていきます。学校では、一人ひとりのペースを大切にしながら、こうした力を積み重ねていけるように支援していきます。

進路について不安を感じることもあるかと思いますが、進路は日々の積み重ねの先にあるものです。ご家庭でのあたたかな声かけや見守りがお子さまの支えとなります。学校と家庭が連携しながら、次の1年も成長を支えていけたらと考えています。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

進路担当 渡邊 碧

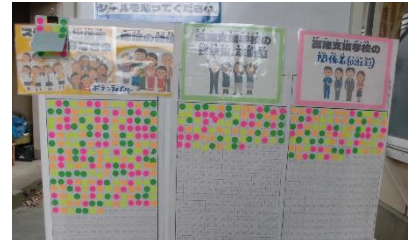
秋のあそび場in たかつ 2025 ~満員御礼!~

今年も秋空の下、高津支援学校にて秋のあそび場in たかつ 2025 が開催されました。今年は、1学期から全校児童生徒が協力してランタンを 600個完成させました。当日は、幻想的な世界ができあがり、多くの方に鑑賞していただくことができました。

販売ブースでは、高等部が考案したカレーをコラボ商品として販売して下さったシモト珈琲さんや、分教室生徒の投票で決定した餡のどら焼きを納品して下さった米倉商店さんなど、近隣の飲食店との繋がりも魅力的でした。また福祉作業所、高等部保護者の方のキッチンカーなど、どのお店も大好評でした。

今年はランタン作り、カレー、どら焼きコラボだけでなく、受付に設置された会場図や来場者ボードも分教室の生徒たちに制作を依頼するなど、児童生徒たちが準備からたくさん関わったこともあり、学校関係者の来場者がとても増えました。地域の方々の素晴らしいステージ発表、たくさんのボランティアの方々に支えられた運営など、地域と学校が力を合わせて作り上げるイベントという理念が更に浸透してきたように感じています。

地域支援係 臥雲 恵



たかつクイズ
⑦こたえ

高津支援学校Instagramを見ると答えがわかります♪
Instagram をぜひチェック&フォロー!

たかつ支援学校

Instagram

